教科目名　世界史（History of World）

学科名・学年　：全学科　２年

単位数など　：必履修　２単位（前期１コマ，後期１コマ，学習保証時間 45 時間）

担当教員　：田中美穂

授業の概要
世界のさまざまな地域の古代から現代までの歴史を学ぶことを通して，広い教養や知識を身につけ，物事を多面的に考える力を養う．とくに，現在起こっている「世界の諸問題を考えるために歴史を学ぶ」という立場で授業を展開する．

達成目標	大分高専目標(A1)，JABEE 目標(a)
（１）過去とのつながりを尊重しつつ，現代を考える力を身につける．（定期試験） （２）歴史を学ぶことで，世界のさまざまな民族・宗教・国家の成立について理解する．（定期試験） （３）世界各地の多様な歴史を重視し，平和な世界をいかに築いていくべきかについて考える．（定期試験）	

回	授業項目	内容	理解度の自己点検
1 2 3 4 5 6 7	古代オリエント世界 古代地中海世界 イスラーム世界の形成と発展 東西ヨーロッパ世界の成立 西ヨーロッパ中世世界の変容と文化 ヨーロッパ世界の拡大とルネサンス 宗教改革と主権国家体制の形成	○前近代のヨーロッパ史の流れを理解できる ○キリスト教世界とイスラーム世界との関係について理解できる ○近代国家の成立について理解できる	【理解の度合い】
8	前期中間試験		【試験の点数】　点
9 10 11 12 13 14	前期中間試験の解答と解説 ヨーロッパ主権国家体制の展開 産業革命とアメリカ独立革命 フランス革命とウィーン体制 ヨーロッパの再編とアメリカの発展 帝国主義と世界分割 第一次世界大戦とその後の動き	○近代市民社会の形成について理解できる ○世界史の発展とグローバル化の流れが理解できる ○列強による帝国主義的な植民地支配の問題について理解できる	【理解の度合い】
15	前期期末試験		【試験の点数】　点
	前期期末試験の解答と解説		
16 17 18 19 20 21 22	中国・インドの古典文明 東アジア世界の形成と発展 モンゴル民族の発展 アジア諸地域の繁栄 アジア諸地域の動揺 アジア諸国の改革と民族運動（１） アジア諸国の改革と民族運動（２）	○東アジア史の流れを理解できる ○アジア諸地域と世界との関係について理解できる ○アジア諸地域の近代化の動きについて理解できる	【理解の度合い】
23	後期中間試験		【試験の点数】　点
24 25 26 27 28 29	後期中間の解答と解説 世界恐慌と第二次世界大戦 冷戦とアジアの復興 米・ソ両大国の動揺と国際危機 冷戦の解消と世界の多極化 社会主義圏の解体とアジアの転機 第三世界の多元化と地域紛争	○現代史の流れを理解できる ○資本主義圏と社会主義圏との関係について理解できる ○多様化する世界の流れが理解できる ○現在の世界の諸問題について理解できる	【理解の度合い】
30	後期期末試験		【試験の点数】　点
	後期期末試験の解答と解説		

履修上の注意	授業中にノートをきちんと取り，しっかり復習をすること．	【総合達成度】
教科書	佐藤次高ほか著，『詳説世界史』山川出版社．	
参考図書		
関連科目	日本史（１年），歴史学概説（５年），歴史学特論Ⅰ・Ⅱ（専攻科１年）	
評価方法	定期試験により評価する．評価が 60 点以上を合格とする．	【総合評価】　点